※令和４年度以降入学生用

学校番号	2003

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	（学）家庭演習 A	単数数	１単位	年次	２年次
使用教科書	「家庭基礎」自立・共生・創造　（東京書籍）						
副教材等	2025　最新　生活ハンドブック　資料&成分表　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年家庭基礎で学習した基礎的・基本的な知識と技術を発展させ実践的能力を養う学習をします。グループ学習やロールプレイをとおして発表する力を身につけることを目標とします。

2　学習の到達目標

家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定、解決策を構想、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて理論的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する能力を育成することを目指す。

・家庭基礎で学んだ基礎的、基本的な知識と技術を発展さささせ実践する知識を身についている。
・生活全般に関する課題を発見し、解決策を探究し、科学的な根拠等に基づいて創造的に解決する能力を養う。
・課題を解決する力の向上を目指し、自ら学び、生活の向上や社会貢献に主体的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自立した生活に必要な家族・家庭及び福祉、衣食住などについて科学的な理解と技能を身につけるようにする。	家族・家庭や社会における生活の中から問題を見いだして、各自課題を設定する。その課題の解決策を構想し、実践・評価する力を養う。	課題選択、実践計画、発表するという一連の学習において活動の過程を振り返り、反省、自己・相互評価をする主体的態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	食生活をつくる	①食事と栄養・食品 ②食事計画 ③家族の献立 ③調理の基礎 ④これからの食生活	a:自分や家族が健康に過ごす食生活に役立てるために、栄養素の種類や機能や食品の栄養的特質や調理性について理解する。 b:自分と家族の食生活を計画・管理出来るようにするために、各ライフステージの食生活の特徴や課題を理解し、健康・栄養によい食事を理解し実践しようとする。 c:食生活の自立のために必要な調理の知識と技能、応用力を理解する。	小テスト	ワークシート 実習課題 振り返りレポート	グループ学習 実習課題 振り返りレポート
	衣生活をつくる	①被服の役割を考える ②衣生活の文化と知恵 ③これからの衣生活 持続可能な衣生活を目指して	a:社会的・文化的背景と被服の多様な機能や特徴を理解する。 b:用途に合った着装を実践しようとする。 c:日本の衣生活の変遷や衣文化に込められる知恵や技術について知る。日本の和服、世界の民族衣装について理解し、創意工夫できる力を実践する。	小テスト	ワークシート 実習課題 振り返りレポート	アクティブラーニング 実習課題 振り返りレポート
	持続可能な生活を営む	①持続可な社会を目指して ②一人一人の力で社会を動かす	a:持続可能な消費や生活について理解し、ライフスタイルの工夫を実践しようとしている。 b:暮らしの中で資源利用を削減し、エシカル消費を実践しようとしている。	小テスト	ワークシート 実習課題 振り返りレポート	アクティブラーニング 実習課題 振り返りレポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度